

一 般 質 問 通 告 表

平成27年第3回始良市議会定例会（9月9日（水） 午前9時00分開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 吉村 賢一	1. 山林の荒廃を防ぎ産業振興に繋げないか	<p>山に人が住まず、山が荒れたら下流に住む市民に多大な悪影響を与える。山の荒廃対策にはいろいろな方策があるだろうが、そうならないような手立ての一つとして今回、里山整備の一環として竹林の整備及び竹の利用活用を図るべく以下のとおり質問する。</p> <p>(1) 始良市の竹林面積は何ヘクタールあり、県内では何番目になるか。</p> <p>(2) そのうち整備されている竹林はどのくらいで、放置された竹林はどのくらいあるか。</p> <p>(3) なぜ竹林整備が進まないのか、またその対策はどう実行しているか。</p> <p>(4) 放置竹林を整備するのにどのくらいの費用がかかるのか。また、竹を売却した場合の採算をどう見るか。補助増の検討はできないか。</p> <p>(5) 竹の利活用について今後どんなことを考えているか、具体的な計画を示せ。</p> <p>(6) 始良市のタケノコ生産量と生産額を示せ。また、タケノコ生産農家の現状やたけんこオーナー制度は有効に機能しているか。</p> <p>(7) タケノコ生産農家の育成、後継者育成に取り組んでいるか。</p> <p>(8) 竹林に起因する斜面崩壊、イノシシ被害は発生していないか。</p> <p>(9) 竹の利活用を推進することは、竹林面積の多い始良市の特産品開発となる可能性があり、雇用拡大につながると思うが行政の考えを示せ。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(2) 災害時の行動計画・避難場所についての啓発や自主防災組織を設置して活動することの効果や平常時と災害時の活動について問う。</p> <p>(3) 自主防災組織へ防災資機材備蓄の整備への支援について問う。</p> <p>(4) 避難行動支援者を対象に円滑な避難行動がとれるよう、緊急時に自動で起動し情報を受信する防災ラジオの配布は出来ないか問う。</p> <p>(5) 地域独自の防災・福祉ハザードマップの作成支援と配布、及び地域ぐるみの避難体制の整備について問う。</p> <p>(6) 既設の都市公園の一部を防災機能(災害時に水を確保できる耐水性貯水槽やスタンドベンチ、災害用トイレ、備蓄倉庫、ソーラー照明灯など)を備えた防災公園として整備できないか問う。</p>	
	2. 防災ボランティアについて	<p>(1) 本市の防災ボランティア組織の現状を問う。</p> <p>(2) 防災ボランティアと行政(消防)・社会福祉協議会との連携体制を問う。</p> <p>(3) 防災ボランティアへの啓発・知識と消防との環境整備に対する取り組みを問う。</p>	市 長
	3. 消防水利について	<p>(1) 2月28日に発生した須崎地区の住宅火災(1人死亡)は道路が狭隘なため消防車両が進入できず、消火に手間取った事案が発生した。この地区では二度とこのようなことが起きないように消火栓設置を希望して</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. マイナンバー制度について	<p>いる。他にも同様の狭隘な地域が存在するがその対策を問う。</p> <p>(2) 防火水槽の整備状況と利用可能状態について問う。</p> <p>(3) 今後の防火水槽の整備計画を問う。</p> <p>(1) 今年度10月から国民全員に番号通知が開始され、平成28年1月から行政手続きでマイナンバーの利用が始まるなかで、国民の利便性の向上・行政の効率化、公平・公正な社会の実現というメリットが言われているが、取り扱い・情報セキュリティ対策など、この制度における本市の取り組みや動向を問う。</p> <p>(2) 住民情報を扱う基幹系システム、自治体事務をおこなうための情報系のシステムネットワークのネットからの分離とそれに伴う膨大な経費、情報管理について問う。</p> <p>(3) 企業も従業員の番号を収集・管理することにより事務作業の増や情報流出の危険等で負担が考えられるが、行政としての対応を問う。</p>	市 長
3. 新福 愛子	1. 高齢者が安心して暮らすための、きめ細やかな環境整備について	<p>2012年に国が発表した認知症の有病率は、高齢者の約15パーセント、65歳以上の4人に一人が認知症もしくは認知症予備軍と言われている。</p> <p>身近な家族や周囲に認知症は存在し、高齢者だけではなく、すべての世代に関係する社会の問題として捉えていくべきと考える。</p> <p>9月は「世界アルツハイマー月間」となっており、始良市総合計画の主要</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 戦後70年の取り組みについて</p>	<p>施策にもあげられている「認知症高齢者を地域で支えるための地域づくりの推進」を急ぐ必要がある。</p> <p>(1) 認知症高齢者を地域で支えるための地域づくりをめざし、地域ごとに進んでいる「徘徊模擬訓練」の状況と課題を問う。</p> <p>(2) 「認知症ケアパス」の状況と課題を問う。</p> <p>(3) 宮城県岩沼市では、地域包括支援センター連絡会が「徘徊高齢者捜索行動マニュアル」を作成し、家族・行政及び関係機関が連携し一体となって対応し、早急に発見し生命の危機を回避する体制づくりを推進している。本市でも取り組む考えはないか。</p> <p>(4) 国立長寿医療研究センターが、認知症予防に身体を動かしながら脳を鍛える認知症予防エクササイズ「コグニサイズ」が評判になっている。</p> <p>完成した市民歌や市民音頭に合わせ、気軽にできる認知症予防を取り入れた市民健康体操を作る考えはないか。</p> <p>(5) 「認知症の人の介護は、外見では介護していることが分かりにくいいため、誤解や偏見を持たれて困っている」という市民からの要望を受け、静岡県が全国初で作成した「介護マーク」が広まっている。本市でも、取り組む考えはないか。</p> <p>本年第1回定例会で質問した「非核・平和都市宣言」についての進捗について問う。</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 防災行政無線の充実にむけて	<p>埼玉県狭山市では、放送内容を聞き漏らしたり、聴きづらかったりした時、防災行政無線の放送内容を専用のフリーダイヤルで聞けるサービスを開始し、市民に喜ばれている。本市でも取り組む考えはないか。</p>	市 長
4. 湯元 秀誠	1. 国道10号早期4車線化の促進を	<p>国道10号の鹿児島市～始良市区間の4車線化の整備が始まってから40年近くが経過しているが今日まで全線の完成に至っていない。</p> <p>錦江湾沿いに7～80万人が暮らすまちを結ぶ要の道路にしては全国を見渡してもこのようなお粗末な国道はない。</p> <p>鹿児島市内に入る三船からの渋滞は恒久的状況であり、8.6災害以後もこの区間の拡張は1メートルも改良工事がなされていない。</p> <p>始良市民の暮らしと国道10号は切り離しては語れないことである故、国道は国の管轄であることを承知で質問する。</p> <p>(1) 新聞等で改良工事に関しては磯付近のルート決定が大きな問題として指摘されている。</p> <p>この4車線化の整備促進の期成同盟会の存在があれば、組織の関連自</p>	市 長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>治体を示せ。また、ルート決定など、どのような協議や国への働きかけが行われているか。</p> <p>(2) 国会議員、県議会議員の誰もが国道10号の整備に熱く力を注いでいる方はいないように見る。ここに至っては他力依存では実現には遠い。</p> <p>桜島の大噴火の懸念されることや豪雨による8.6災害規模などの避難を想定し、防災の取り組みの面からも鹿児島市などと連携し、国への働きかけを強くすべきであるが、協議したことがあるか。</p> <p>(3) 始良市は鹿児島市の発展と共に今日まで人口も増え発展ができたことは、脇道のない国道10号の役割は大きかったと言っても過言でない。</p> <p>今後も始良市民の暮らしや、経済には国道10号は大きな動脈である。しかし、渋滞は多くの方々の労働時間のロスを生じさせ、大きくは鹿児島県の経済の損失面にもつながる。渋滞から発生する損失の算出データはあるか。</p> <p>有事の際の国道の閉鎖は始良市に大きな混乱を発生させ経済損失もあるが、どのように捉えているか。</p> <p>(4) 鹿児島市主催の「鹿児島マラソン2016」が来年の3月6日に、我が始良市を折り返しとするフルマラソンが開催される。申し込み開始後のわずかの期間で1万人を超える申し込みがあり、熊本マラソンと同等の経済効果が期待できると言われ、始良市もぜひあやかりたいところである。</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 高速道路沿線の環境整備</p>	<p>この大会は全面通行止めでの開催か。</p> <p>鹿児島市側からの協力要請など、どのような内容で進められているのか。</p> <p>国道10号は2車線区間もあり、平坦に見えるが、起伏の厳しいコースと見るが、リタイヤの搬送など、細部の協議はなされているか。</p> <p>(5) マラソン開催で道路整備の条件はあるのか。</p> <p>マラソン開催のテーマに「明治維新のおもてなし」とある。明治の日本の変革に大きく関与した鹿児島である。ぜひ、このマラソン大会を機会に国道10号の4車線未整備区間の解消促進も視野に入れて盛りあげていただきたいが、提言は出来ないか。</p> <p>イオンタウン建設が急ピッチで進められ、今後スマートインターチェンジの整備、物産館建設の計画があり、高速道路沿線は大きく模様が変わっていくと考える。</p> <p>(1) このような整備が市民の暮らしやすさへの貢献度をどの程度向上させると考えるか。</p> <p>(2) 高速道路は始良市民の暮らしに大きく貢献し不可欠なものである。しかし、街の発展と周辺の模様が変わっていく中、高速道路は街を分断し、市の発展の妨げや市民の往来のネックとなりつつある。この問題解決はどのように進めるか。</p> <p>(3) 夏場になると高速道路法面の雑草や竹の繁茂した現況はあまりにも</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 宇都トンネルは大型車の通行規制を</p>	<p>ひどいと感じる。</p> <p>街の景観が大きく損なわれていると感じるが、市長はどう見ているか。</p> <p>(4) 隣接する住宅の方々からの苦情はないか。どのような対応をしているか。</p> <p>NEXCO西日本に、このような状況改善を申請するなどしているのか。</p> <p>宇都トンネルは鹿児島市との合議によりトンネル増設の実施計画が進められ、早期の実現が待たれている。</p> <p>(1) 近年このトンネルは大型車両の往来が増加し大型車の進入で、普通車は後退を余儀なく強いられ、特に女性ドライバーや年配の方々に苦痛を与えている。</p> <p>ひどい例では、大型車のドライバーから罵声を浴びせられたりするケースもあり、危険度が増してきている。このような状況を市は把握しているか。</p> <p>(2) 大型車両の通行規制（通行止め）を望む声が多い。警察署、交通関係機関に問題提起を行い、トンネル増設の完成までの期間の規制はできないか。</p> <p>(3) 通行止めが難しい場合、信号機の設置で片側通行の方法も選択肢として考えられるが、検討できないか。</p>	<p>市 長</p>
<p>5. 渡邊 理慧</p>	<p>1. 安保法制法案(戦争法案)に対する市長の政治姿勢について</p>	<p>今年は戦後70年の節目の年である。先の大戦は広島、長崎への原爆投下など膨大な数の人々が被害を受けた。戦争は二度と繰り返してはならな</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. マイナンバー制度について</p>	<p>い。</p> <p>(1) 安保法制法案（戦争法案）は多くの憲法学者が「憲法違反」と指摘している。市長は、この法案に対してどのような見解を持っているか。</p> <p>(2) 戦争の放棄を明記した憲法9条、憲法の最高法規性を明記した第98条1項、憲法の尊重擁護義務を明記した99条についての見解を問う。</p> <p>(1) マイナンバー法の狙い、目的は、一人ひとりの社会保障の利用状況と税の納付状況を国が一体で把握する仕組みを整え、社会保障の抑制・削減を効率的に進めることにある。プライバシーを侵害し、中小企業にも大きな負担と困難をひろげ、国民にとっても利益もほとんどないマイナンバーは中止すべきと考えるが、市長の見解を問う。</p> <p>(2) 年金情報流出問題などの教訓から、始良市の課題をどのように考えるか。現状をしっかりと検証すべきと思うがどうか。</p>	<p>市 長</p>
	<p>3. 子ども医療費無料化拡充について</p>	<p>子ども医療費の無料化の拡充については昨年の議会答弁で「早い時期に取り組めるよう進めてまいります。」と述べている。2016年度予算にはそれが反映されるのか。</p>	<p>市 長</p>